

**【英語(筆記
リーディング)】 大学入学共通テスト試行調査(プレテスト)所見 (平成30年2・3月実施)**

教材研究センター外国語研究室

◎ 試験概要 ◎

配点：設定されていない

試験時間：80分

◎ 出題における特徴的な点 ◎

- 現行のセンター試験の問題構成・問題形式とは大きく異なり、発音・アクセント問題、4択式の文法・語法問題、語句整序問題などはなくなって、読解力の測定に特化した問題となっている。
- 本文と設問選択肢の語数を合わせた総語数は約5200語で、現行のセンター試験よりも900語程増えて、より一層分量の多い試験となっている。
- 全体として、本文と選択肢の内容を照合するだけでなく、複数の意見を整理する力や英文の構成を把握したり、趣旨を把握して要約したり力が求められている。
- 一部の設問で、当てはまる選択肢を全て選択させる問題が出題されている。
- 表紙の注意事項をのぞいて、設問文などはすべて英語で表記されている。
- 「高校学習指導要領」において育成を図る資質・能力への準拠を強く意識して問題が作られている。また、問題ごとに想定されたCEFRレベル(※)があり、A1～B1レベルの問題を組み合わせで出題されている。※外国語の習熟度を評価する国際指標。

◎ 大問ごとの分析 ◎

第1問 読解問題(情報検索)

- ・ 広告文はA・Bの2種類あり、Aが遊園地の混雑予想に関するウェブサイトのページ、Bがイベント告知のポスターが題材。
- ・ 小問数はAが2問、Bが3問。
- ・ 現行のセンター試験(英語筆記)第4問Bに近い形式で、設問の解答に必要な情報を広告文の中から検索することが求められる。

第2問 読解問題(テキストに基づく推測・事実と意見の区別)

- ・ Aはインターネット上に掲載された飲食店に関する評価記事が、Bは学生アルバイトに関する文章が題材。
- ・ 小問数はA・B共に4問ずつ。
- ・ シンプルな内容一致問題は出題されず、個々の英文の概要や要点を把握することや、複数の意見の要点を整理・区別することが主として求められている。
- ・ Aの問4は「2つ以上正解となる可能性がある」ことが設問文に書かれている。また、「個人の意見ではなく、事実として正しいものを選び」という新傾向の問題だった。

第3問 読解問題(ストーリー性のある文章の概要把握)

- ・ Aは旅行記のブログ、Bは新聞のコラムで、共にストーリー性のある文章が題材。
- ・ 小問数はAが2問、Bが3問。
- ・ 設問傾向は現行センター試験(英語筆記)の第5問に近く、ストーリーの概要・話の展開を理解する力や本文と設問選択肢の内容を照合する力が求められている。また、Aではイラストを参照して解答する問題が出題されている。

第4問 読解問題(2つの視点から書かれた文章の比較)

- ・ 2人の人物が、2つのグラフを元に書いたレポートが題材。
- ・ 小問数は5問。
- ・ 2人の人物の見解を比較して、共通点と相違点を見出すことが求められている。

第5問 読解問題(論理展開・文章構造の把握)

- ・ Aはアメリカ人学生が「折り紙」について書いた文章、Bは黒コショウと白コショウについて述べた文章が題材。
- ・ 小問数はA・B共に3問ずつ。
- ・ Bは文章の概要や要点をまとめたノートの中に入る表現や英文を選ぶ。
- ・ 設問は、文章・パラグラフの主題把握、文補充、段落の見出し選択、黒コショウと白コショウの共通点・相違点をそれぞれ複数選ぶ問題が出題。
- ・ 俯瞰的・論理的に英文を読んで、文章の要旨や文同士つながり、対比を把握することが求められている。

第6問 読解問題(物語の概要把握)

- ・ キャンプに参加した少年の物語の感想が題材で、その感想をまとめたワークシートの中にある5か所の空所に入る表現や英文を選ぶ。
- ・ 物語の流れや登場人物の性格を把握すること、また物語に対して書評作成者がどのような見解を持っているか考えることが求められている。